

市内文化施設利用者団体懇談会（第1回）概要

1	懇談会名	市内文化施設利用者団体懇談会
2	日 時	平成20年9月17日（水） 午後7時から8時30分まで
3	会 場	上田市民会館2階大会議室
4	出席者	利用者団体代表者等35名
5	出席委員	龍野副委員長、成沢委員、山浦委員、山崎委員、石川委員、塚田委員、岡村委員、小川委員、宮本委員、
6	市出席者	大沢政策企画局長、伊藤交流・文化施設建設準備室長、中部文化振興課長、若林交流・文化施設建設担当係長、室賀係長、徳田主任、
7	運営支援業務受託者	室賀建築設計事務所 室賀欣一氏
8	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
9	記者	3人
10	概要作成年月日	平成20年9月18日

内 容 等

1	開会（大沢政策企画局長）
2	あいさつ 副委員長：8/1に25名の委員で交流・文化施設等整備検討委員会がスタートし、「交流・文化施設」と「市民公園・広場」の整備について、これまでに3回の会議を行っている。また、今日と明後日に開催する本懇談会のほか、現在、市民3,000人を対象とした施設整備に関するアンケートを実施中。このように今後も様々な機会を通じて皆さんの意見をお聞きしながら、委員会で検討していく。本施設は上田市にとって重要な施設となり、また多額の費用を伴うことから、皆さんの意見を充分お聞きした上で、真剣に検討していかなければならない。いただいたご意見を全て施設に反映できるかといえ、費用の関係からも難しいとは思いますが、利用者の皆さんからの、また、今後利用される皆さんからのご意見を広くお聞きしたい。せっかくの機会に、活発に意見をいただければありがたい。
3	検討委員、事務局（市）出席者自己紹介
4	趣旨説明 事務局：（配布資料の説明） 次に、資料はお配りしていないが、交流・文化施設等整備検討委員会について紹介したい。この委員会は、有識者、各種団体、地域代表、公募の計25名で発足し、これまでの経過や市の公共利用の基本方針、まちづくりや周辺地域の利活用の方針を踏まえ、今後整備する交流・文化施設等の基本コンセプト（基本理念・目標）、施設整備の概要（内容・規模・機能）、管理運営方法の方向性などについて検討し、来年2月には結果を市長に報告する予定。市としては、この検討結果と市民の皆さんの意見を基に、今年度内に整備基本計画を策定し、事業完了は平成24年内を目標としている。今後、「交流・文化施設などの整備に関する意向調査（市民アンケート）」、今日と明後日に開催する利用者団体懇談会、検討委員会中間報告後の市民公聴会やパブリックコメント（意見募集）など、様々な機会を通じて市民の皆さんの意見をお聞きし、多くの市民が集い、賑わい、誇りに思える施設となるよう取り組んでいく。今日は、今後の検討委員会での議論や方向性を定めていくため、日ごろ上田市民会館などの文化施設を主に使用し活動されている方々、また市民の方々から、施設の現状や新施設に対するご意見、ご要望などをいただきたい。
5	懇談 副委員長：どなたからでも結構ですので、自由にご発言をいただきたい。 参加者：これまでに上田市民会館で多くのコンサートを企画したが、施設の面で多くの課題があ

る。現在は来場者が外で開演を待つことが多く、待ち時間にゆっくりとくつろげる広いロビーがほしい。2階席が作られるのであれば高齢者のためにもエレベータが必要。座席数について、現在の1,200席程度では経費の面から有名歌手の公演は数多く企画できないため、できれば1,600席は欲しい。県内第3番目の都市としても、長野、松本の文化会館に近いものが必要。しかし、箱物を作れば経費もかかる。今回の計画では美術館機能を持たせるとのことだが「あれもこれも」ではなく、ホール単独でお願いしたい。資料でJT跡地の利用図を見たが、文化施設等の敷地が狭くてがっかりした。費用の面もあると思うが、しっかり検討してほしい。

参加者：数年前の上田市民会館改修時、多目的ホールの性格を残したいため、残響時間はあまり長く設定しなかったと聞いている。是非音楽ホールとしての「響き」を考慮し、現在の「舞台と客席で音が隔てられているような」状況を改善してほしい。楽屋は大人数のオーケストラに対応し、指揮者や客演奏者用の個室をそれぞれ男女別に用意してほしい。搬出入口や舞台裏、舞台袖は大型楽器の使用が円滑に行える広さに。なお、搬出入口は複数あってもよいのではないか。屋根があると雨天時に非常に便利。舞台設備は各種ジャンルに対応したものとすべきだが、ホールの目的によって設備が大きく異なるため、委員会で十分な検討を。ロビーとホワイエの位置付けを明確に区分し、外でお客さんを待たせることのないように。客席の扉は二重扉とし、冷暖房効率にも配慮が必要。客席数は市民利用を想定すれば1,500席程度が無難ではないか。その他に練習室も最低2箇所は必要。駐車場はホール、美術館、広場でイベントが同時開催されても十分な台数を確保し、大型車両用も複数台分必要。休日の公園利用者と駐車場の取り合いが起らないよう、また商業施設からの車両の流入がないようにし、周辺道路からの流入もスムーズにしなければならない。現在の利用料金や手続き等と比較して使いづらくしないでほしい。県内で、ホールによっては曜日ごとに市内団体に開放、倉庫も共用している例がある。日常から市民の文化発信の拠点となるように検討を。現在の市民会館やセレスホールでは、設備の面から吹奏楽のコンクールや交流の演奏会が難しい。各種設備を多めに設けて、比較的大きな大会や文化交流会が上田で行われるようにしてほしい。レストランはお弁当が注文できると便利。

副委員長：今日は懇談会という名称だが、皆さんからの意見をお聞きするという趣旨。お手元の「ご意見・ご要望記入用紙」にぜひ記入され、後日でもよいので提出を。また、いま大変専門的な意見もいただいたが、今後検討委員会の中に、学識経験者を中心にした専門委員会を設置し、連携しながら検討していくため、専門的・具体的な意見もいただきたい。

参加者：入り口部分は段差を少なくし、トイレは男女が近い方が何かあったときに助け合える。楽屋は1階に集め、各部屋には水道設備があればきれいに使えてよい。

参加者：現上田市民会館は駐車場の狭さが最も大きな問題であり、移転することで解消されると期待している。音響において、音楽と演劇は対立してしまう。例えば残響時間の長い音楽ホールで演劇を行うとお風呂で話しているようになる。費用の問題からも、多目的ホールにせざるを得ないという事も分かるが、多目的ホールは無目的ホールとなってしまうため、できれば1,500席程度の音楽ホール、800席程度の演劇ホール、となれば大変うれしい。文化というものは基本的にお金がかかり、利益を上げるという類のものではないと考えている。しかし「文化の薫る都市」というお金の換えられない部分もある。立地条件に優れた場所に建設する以上は、今日のように利用者の意見を聞く機会を多く設けられ、よいものを作ってほしい。

参加者：上田を中心に吹奏楽のコンクールを開催していたが、現上田市民会館は大型楽器の搬出入と駐車場に問題があり、ここ10年程開催していない。現在東信には十分な席数と駐車場を持つ会場が無く、小規模のホールで3日間開催とするような状況。そこで、1,500席

程度の主ホールと、サブホール、練習室、リハーサル室を持つ施設がほしい。また、上田地域の中学校にはチャイム（ ）等の大型楽器が少なく、丸子地域や東御市の中学校から借りているという状況。楽器の貸し出しを行い、自由に使えるようにしてほしい。

（ チャイム：鐘をピアノの鍵盤順に吊るした打楽器、NHK のど自慢の鐘）

参加者：舞台裏周辺は、実際の使用や舞台機構について精通した人に設計してほしい。そうしなければ、非常に使いにくいホールとなる可能性がある。吹奏楽のコンクールは、一日に2,000人近い生徒が訪れることとなり、文化の発信という点で非常に大きな影響があることから、これに対応できる規模のホールがぜひ必要。また、文化の創造、市民の文化活動の発展のためには、練習室やリハーサル室も重要。立派な施設ができればありがたいが、学生の利用などを踏まえ、利用料が極端に上がるということは避けてほしい。千曲川に面して整備する以上は、景観を活かした、風景が見えるような設計をお願いしたい。

参加者：出演者の控室を、できれば1階に、また多めに設置してほしい。施設にも駐車場にも階段は少なくしてほしい。練習室、リハーサル室も必要。

参加者：ホールの規模について、1,600席程度との意見もあったが、自動的に座席へ仕切りを降ろし、中ホールに改造できるような方法はないか。先程の残響時間の問題も解決しながら、公演に応じた席数を確保できるため画期的。ぜひ専門家の方々にも提案してほしい。

参加者：今まで市民会館のことを中心に話されているが、開催通知によると美術館の方も...

副委員長：美術館機能については明後日...

参加者：同じ場所に作るということか。

副委員長：作る、作らないという事もまだ決まっているわけではないので、明後日、美術館関係の方々のご意見をお聞きする予定になっている。

参加者：まだ何も決まっていないということか。

副委員長：何も決まっていないと言うと語弊があるが、ほとんど決まっていない。そのために、今日いろいろお聞きをしている。

参加者：これはまだ何度か開催するのか。

副委員長：懇談会は、今のところ今日と明後日のみの予定。

参加者：今日は整備計画の「たたき台」くらいはあると思っていたが。

副委員長：まだそのようなものはない。先程お話しした専門委員会もこれから開催。検討委員会もまだ3回しか開催していない。来年の2月を目標に報告書をまとめる。

参加者：ホールの規模について、できれば2,300席と考えている。長野県県民文化会館が2,200席、長野県松本文化会館が2,000席、まつもと市民芸術館が1,800席だが、興行主とすればより大きなホールを使いたい。例えば、ある公演では、200席の差で150万円の収益の差が出てしまったとのこと。上田市で大きなホールを作ったとしても、市民団体だけで使うことは難しいため、市外県外の団体にも使用していただき、維持費を捻出するという方法がよい。それでも大きすぎる場合は、先程の意見のように、席を区切れるようにしてほしい。中途半端な規模なら、維持が大変なので作らない方がよい。

参加者：先程「たたき台」というお話が出たが、こういう会を開催する際には、ある程度の「たたき台」のようなものがないと話が進みにくい。それを出せる団体などからは大いに出していただき、その内容について検討すればよい。先程「美術館まで作るのはいかがなものか」という意見も出たが、それこそ「たたき台」や構想を説明、理解いただいたうえで美術館が不要だとか、ホールの規模はどの程度が適切か、などの話を進めてほしい。

副委員長：そちらは検討委員でもあり、また、美術系については明後日行うので...

参加者：いや、美術系とかそういうことではなくて...

副委員長：もちろん、そうではないが、今日はホール関係の皆さんを中心にお集まりいただいていることもあり、検討委員会の中でお話をいただきたい。

参加者：わかりました。

副委員長：他の皆さんはどうですか。ご意見・ご要望記入用紙に書いていただくということでもよろしいか。

参加者：後日提出してもよいか。

副委員長：本委員会は来年 2 月まで検討を行う予定であり、それまでにいただければよい。先程のご意見のように、団体で「たたき台」のようなものができた場合、そちらを提出いただいてもよい。

参加者：今回の懇談会はこちらから要望を出すだけなのか、それとも「要望に対してこのように検討した」という回答のようなものはあるのか。

副委員長：9/1 号の広報で掲載したように、また、上田市のホームページでも検討内容などを随時公開しているのでご覧いただきたい。また、ご意見も随時受け付けている。

参加者：(新しい施設で)公演が終わると一度に車両が流出するため、スムーズな交通に配慮してほしい。それと、商業地区、住宅地区等の区画についてはもう決定済みなのか。施設や駐車場を整備するには敷地が狭いように感じるが。

副委員長：JT 跡地全体で 21ha という敷地は決して狭いスペースではない。

参加者：現上田市民会館の何倍程度か。

事務局：交流・文化施設等整備予定地の面積が 4~4.5ha、現上田市民会館の敷地面積が約 0.7ha であるため、比較すると約 6 倍になる。なお、今日と明後日開催の本懇談会は、皆さんから意見をお聞きし今後の検討に活かしていくという趣旨であり、現段階で素案のようなものを提示し、それに対して意見をいただくわけではない。今後、検討委員会の中に文化施設のあり方に精通した専門委員会を組織し、検討委員会と連携しながら 11 月に中間報告書を作成する。12 月には市内各地域で公聴会を開催し、市民の皆さんに中間報告の内容を提示、ご意見をいただく。これをさらに検討委員会にて協議し最終報告書に反映させていく。この他にも皆さんのご意見を広くお聞きする機会を設けてまいりたい。

副委員長：今日はこれで終了としたいがよろしいか。

参加者：(了解)

副委員長：どうもありがとうございました。冒頭申し上げた様に、いただいた意見を全て、ということは難しいと思うが、できる限り反映させたいと考えている。今後も皆さんからご意見をお聞きしてまいりたいのでよろしくお願いします。

6 その他(なし)

7 閉会(大沢政策企画局長)



懇談会の様子

